

肝炎対策の取り組み

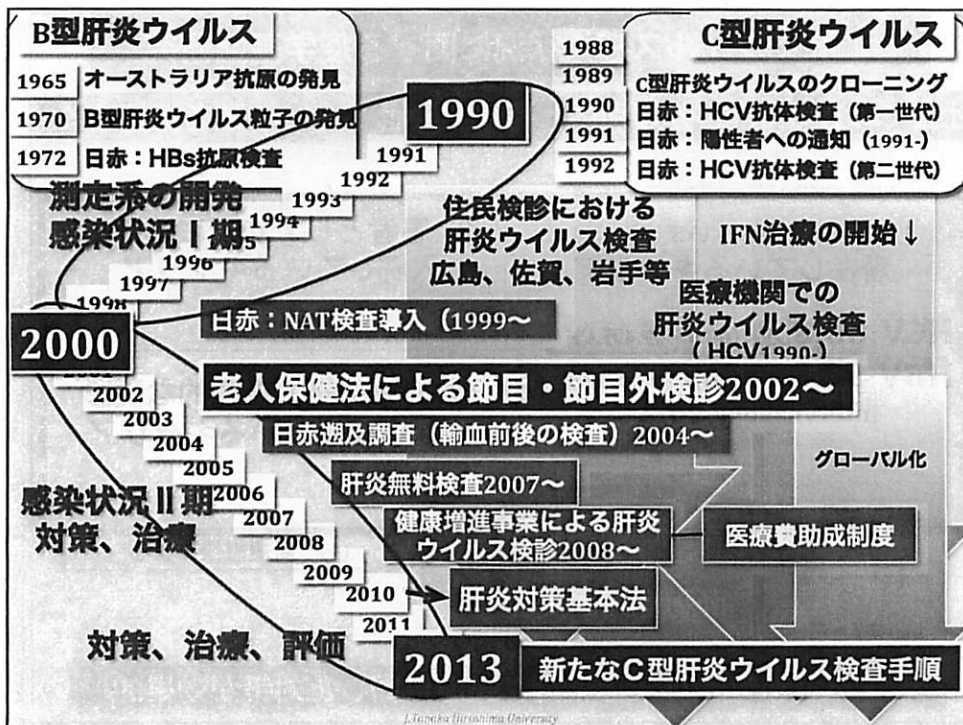
広島県におけるフォローアップシステム

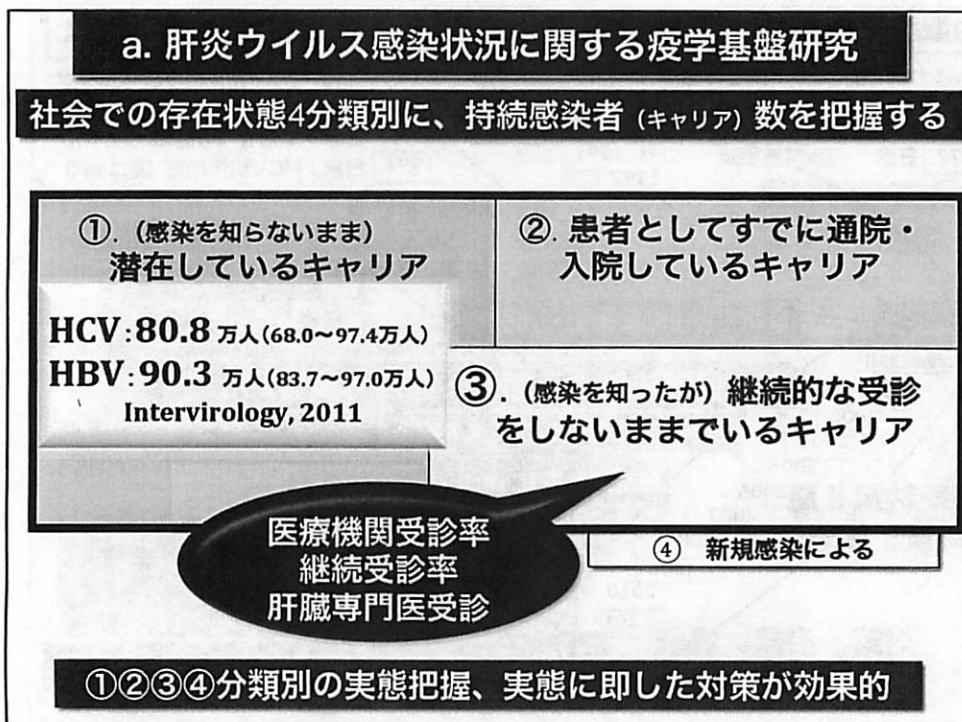
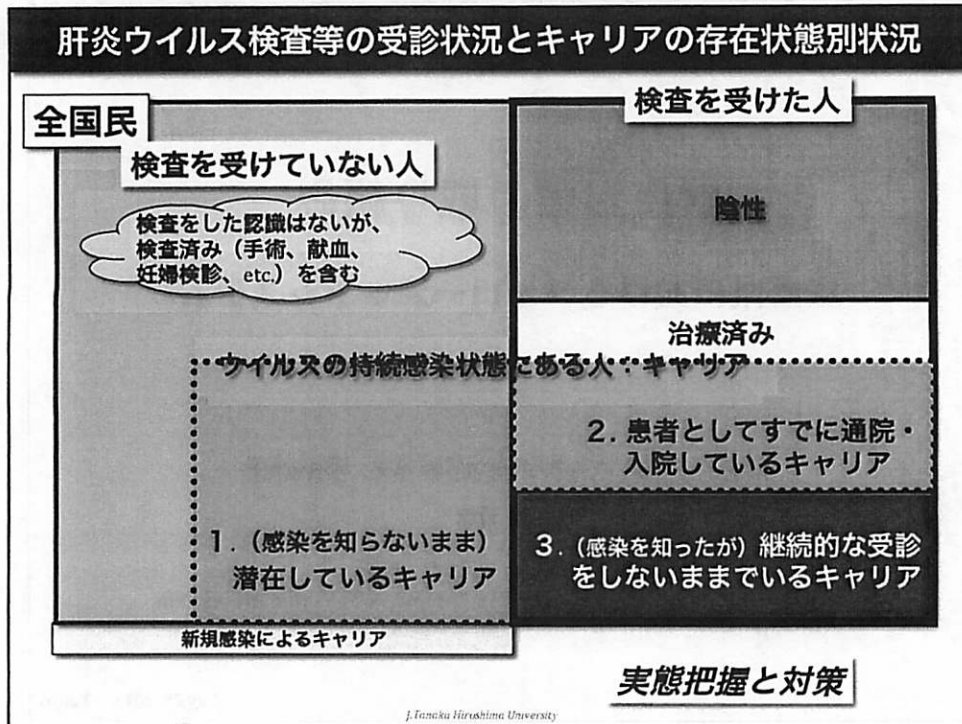
広島大学大学院 医歯薬保健学研究院 疫学・疾病制御学

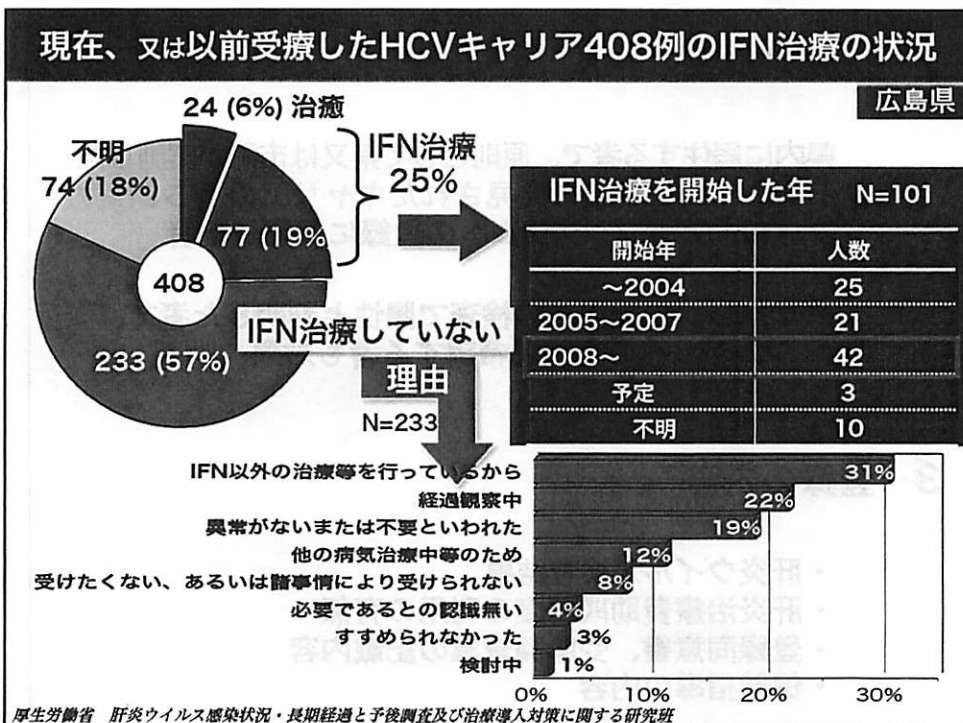
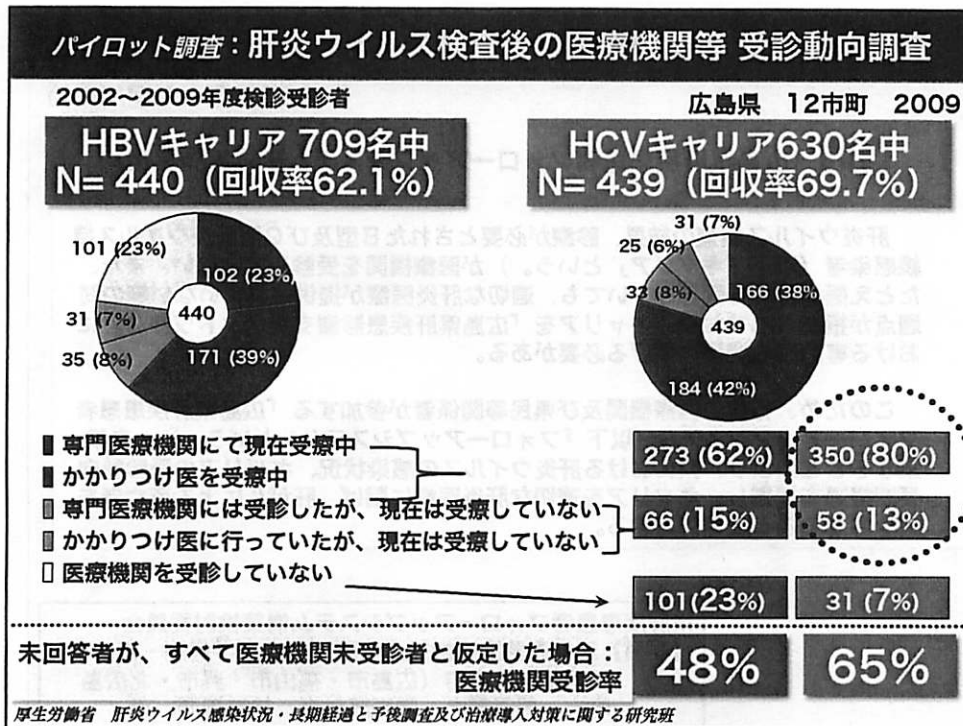
田中 純子

Junko TANAKA Prof. Ph.D
Department of Epidemiology Infectious Disease Control and Prevention,
Hiroshima University Institute of Biomedical and Health Sciences.

July 25, 2013, Tokyo







広島県肝疾患患者フォローアップシステムについて

平成25年度より運用開始

1 目的 (広島県肝疾患患者フォローアップシステム事業実施要綱)

肝炎ウイルス検査の結果、診療が必要とされたB型及びC型肝炎ウイルス持続感染者（以下「キャリア」という。）が医療機関を受診していない、また、たとえ医療機関を受診していても、適切な肝炎医療が提供されていない等の問題点が指摘されており、キャリアを「広島県肝疾患診療支援ネットワーク」における専門医療機関へ繋げる必要がある。

このため、行政、医療機関及び県民等関係者が参加する「広島県肝疾患患者フォローアップシステム（以下『フォローアップシステム』という。）」を構築することにより、県における肝炎ウイルスの感染状況、キャリアの受診動向、長期経過を把握し、キャリアを適切な肝炎医療に繋げ、肝がんによる死亡者を減少させることを目的とする。

※肝疾患患者フォローアップシステム構築検討委員会
【委員】肝疾患診療連携拠点病院（広島大学病院・福山市民病院）、市町（広島市・福山市・呉市・北広島町）、県医師会、学識経験者、検診機関、県

2 登録対象者

県内に居住する者で、原則として県又は市町が実施した肝炎ウイルス検査で発見されたキャリアのうち、フォローアップシステムへの登録に同意した者

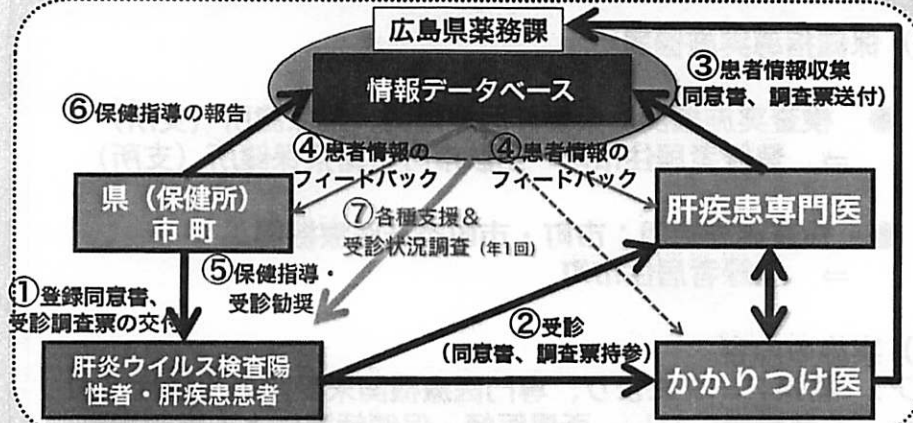
※ただし、上記以外の検査で陽性と判明した者で、システムへの登録を希望する者も対象

3 登録の内容

- ・肝炎ウイルス検査結果
- ・肝炎治療費助成制度の利用の有無
- ・登録同意書、受診調査票の記載内容
- ・保健指導の内容

広島県肝疾患患者フォローアップシステムの概要図

広島版CDC: ヘルスプロモーションの一部



県業務課の業務

- 登録同意書の調査票記載事項等をシステムへ登録
- 市町、医療機関別の患者情報を各機関へ提供
- 県民へのシステムに関する普及啓発、登録情報分析結果の提供
⇒ 行政施策への反映

登録同意書

様式第1-2号
 広島県肝疾患患者フォローアップシステム登録同意書

広島県知事 様

私は、別記様式第1-1号「広島県肝疾患患者フォローアップシステム」このシステムの目的及び内容を理解しました。
 私の受けた検診及び医療内容がデータとしてこのシステムへ登録されることにご同意します。

登録同意者が自書

同意者記入欄	
同意年月日	平成 年 月 日
住所	
ふりがな	
氏名(自書)	(男・女)
生年月日	大正・昭和・平成 年 月 日(歳)
電話番号	
代読者記入欄 (代読者がいる場合のみ記入してください。)	
代読者住所	
代読者氏名(自書)	(職所)
電話番号	

※ 肝炎ウイルス検査で陽性又はH型肝炎ウイルス持続陽性者(キャリア)と判定された方
 第1 この登録同意書及び別記様式第2-1号「広島県肝疾患患者フォローアップシステム」医療機関受診調査票(新規受診用)を持参の上、かかりつけ医及び専門医療機関を受診してください。
 第2 この登録同意書(同意書併用用)は、別記様式第2-1号「広島県肝疾患患者フォローアップシステム」医療機関受診調査票(新規受診用)(同意書併用用)と一緒に専門医療機関へ持参し、添付されますので、大切に保管してください。
 第3 記載された個人情報には、適切な安全管理の受診履歴を行うため、プライバシーの保護に十分配慮し、密着管理が行われ、必要とされた「かかりつけ医」「専門医療機関」のみならず、この事業の目的以外には使用しません。

【お問い合わせ先】
 〒730-8511 広島府中区基町10番52号
 広島県保健福祉局健康課
 電話 082-813-3078 (ダイヤルイン) FAX 082-211-3006

受診調査票

様式第2-1号
 広島県肝疾患患者フォローアップシステム医療機関受診調査票
 【受診用紙】

【患者情報】
 氏名 性別 年齢 病歴
 生年月日 大正・昭和・平成 年 月 日(歳) 性別 病歴
 電話番号

【かかりつけ医記入欄】
 氏名 住所 電話番号
 受診日時 受診内容
 AST ALT GPT
 検査結果

【専門医記入欄】
 氏名 住所 電話番号
 受診日時 受診内容
 検査結果

【医師記入欄】
 氏名 住所 電話番号
 受診日時 受診内容
 検査結果

※ (受診用紙) 10枚装

※受診調査票の記載に係る文書料の登録者の負担はありません(県負担)

6 登録者に対する保健指導の実施

1) 保健指導実施機関

- 検査実施機関：県委託医療機関・県保健所（支所）
⇒ 登録者居住市町・当該市町管轄県保健所（支所）
- 検査実施機関：市町・市町委託医療機関
⇒ 登録者居住市町

2) 実施の内容

- ア. 登録データにより、専門医療機関未受診の可能性のある登録者に対し、所属医師・保健師等による保健指導
- イ. アの保健指導後、その内容を保健指導報告書により、県へ報告

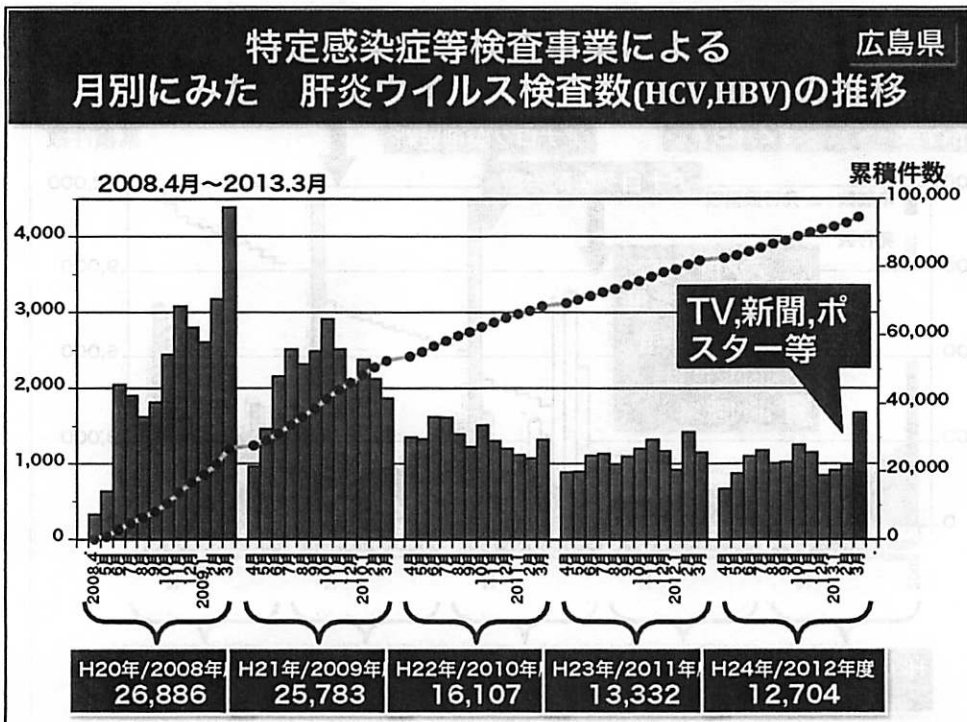
⇒ 県は報告書の内容をシステムへ追加登録

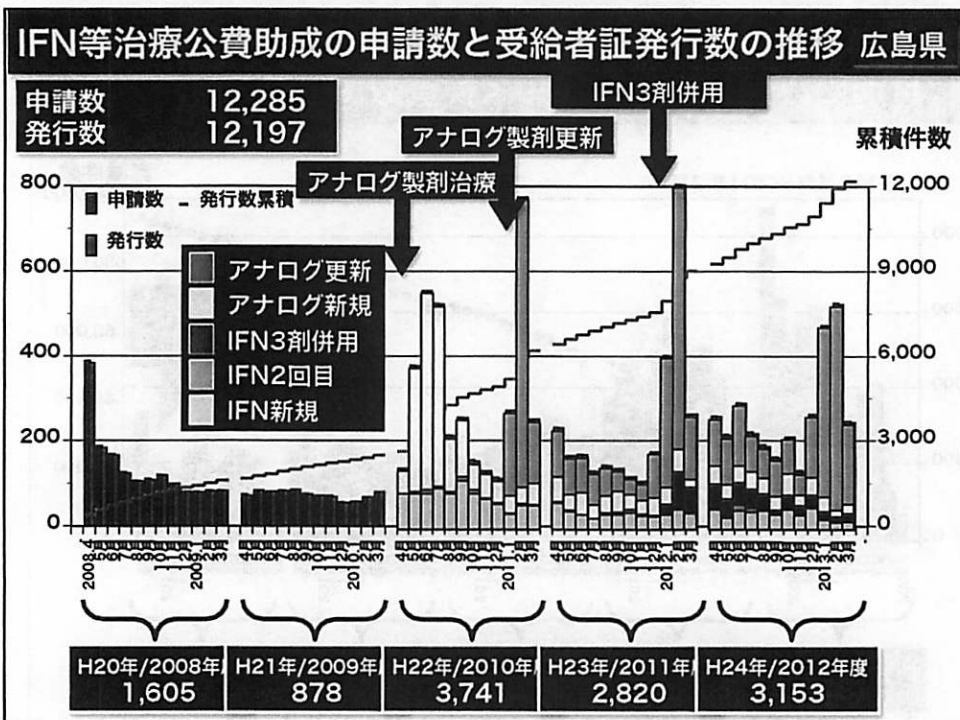
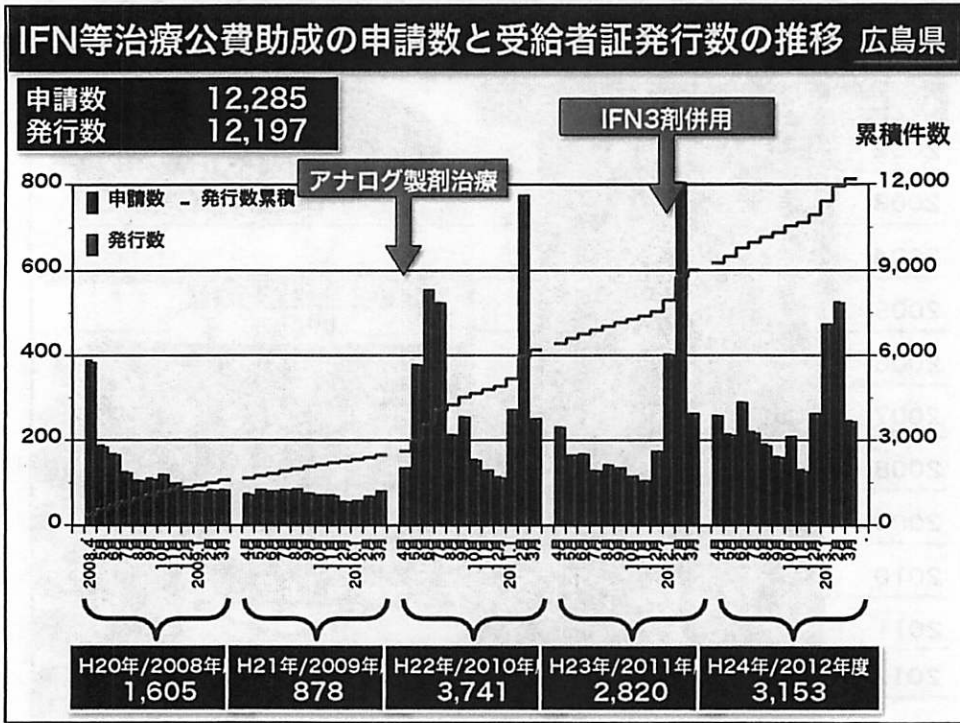
7 登録者への支援

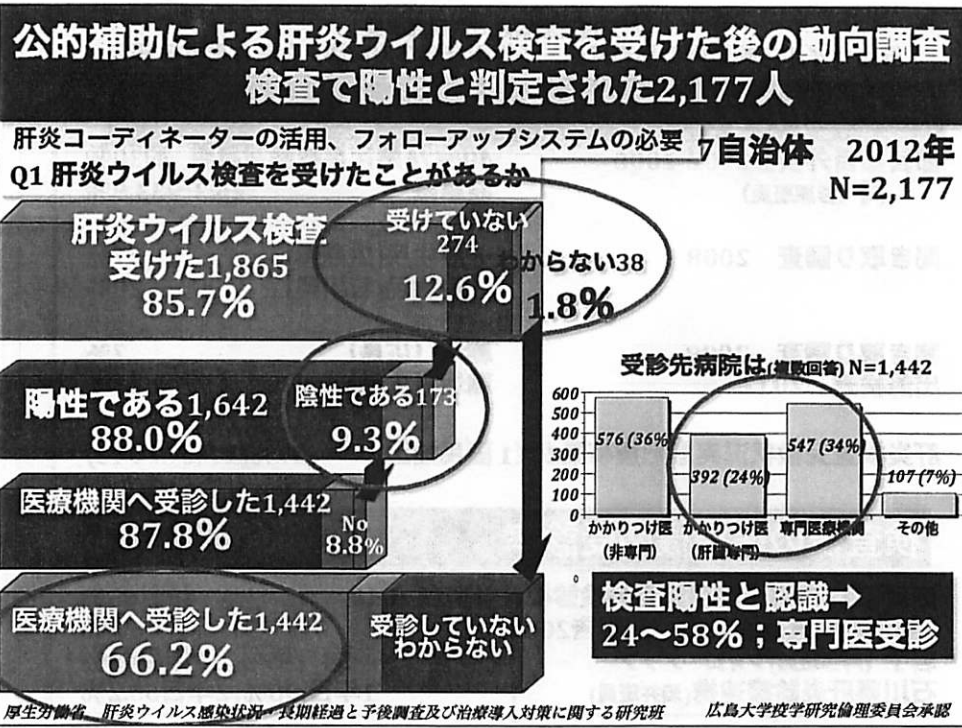
- ・最新の治療情報、講演会の開催その他肝炎治療に関する情報の提供
- ・毎年1回専門医療機関への受診勧奨の通知（更新登録時）
- ・希望者に対する保健師等による保健指導

8 医療機関・市町等への支援

- 1) (専門) 医療機関への支援
キャリアへ適切な肝炎医療が提供されるよう、登録データの集計・分析結果の提供
- 2) 県保健所（支所）・市町への支援
保健指導に資するよう、キャリアの受療状況や予後情報の提供（※登録データ（電子媒体）の送付）
- 3) 行政施策への活用
登録データに基づき、肝炎ウイルスの感染状況及び長期経過の把握 ⇒ 県の行政施策へ活用







検査の記録 [広島版]

肝炎肝臓対策プロジェクト研究センター

「検査を受けるには」
 1. 検査を受けるには
 2. 積極的に進歩し
 3. 肝がんへ
 4. ついては、
 5. イルス検査を
 6. に関する相談
 7. 的相談) 相談に係る費用は無料です。
 8. 広島大学病院: 広島市南区 1-2-3 外資棟1階内 電話: 082-257-1511 (専用)
 9. 福山市市民病院: 福山市 王町 5-23-1 本館1階内 電話: 084-941-5151 (内1160)
 10. ※各相談室の相談日は、夜日及び年末年始の日は異なります。

検査日	検査場所	メモ
年 月 日		
年 月 日		
年 月 日		
年 月 日		
年 月 日		



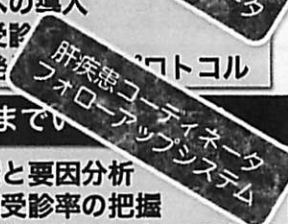
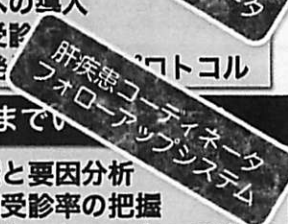
おなまえ

- ◆ B型肝炎ウイルスの検査はHBs抗原検査、HCVキャリアの検査は国の検査手順に従った抗体検査と NAT 検査(核酸増幅検査)の組み合わせで判定します。
- ◆ 一生のうち少なくとも一回は検査を受けましょう。また検査した年月を覚えましょう。
- ◆ 陰性と判定された場合でも、だるさ、食欲不振などの自覚症状がでた時には、再検査をお勧めします。
- ◆ 陽性と判定された場合は、早急に専門医で肝臓の状態を診てもらいましょう。

治療には医療費の助成も受けられます

厚生労働省 急性肝炎を含む肝炎ウイルス感染状況・長期経過及び治療導入対策に関する研究班

肝炎等克服緊急対策研究事業 肝炎ウイルス感染後の長期経過・予後調査及び治療導入対策に関する研究		
肝炎ウイルス検査受検率		
	10%	20~40~60%
節目節目外検診2002-2006 同 (杉原班員)	40~74歳住民検診対象者 岐阜県	約30% 26.3~33.9%
聞き取り調査 2008	一般住民(広島県) 一般住民(石川県)	27% 20%
聞き取り調査 2008 出前検査 2012	職域(広島) 職域(広島)	7% 11%
肝炎検査受検状況実態把握事業2011 国民抽出		57%(17%+40%) 48%(17%+30%)
検査後の医療機関受診率		
		60%~70%
広島県12市町 節目節目外検診検査後調査 2010 1都8県 検査後調査 中間報告2012		48~65% 66.2%
岩手 (阿部班員)フォローアップ 石川県肝炎診療連携(酒井班員)		54~89%, 10年目45% 1年目:98%, 2年目65.2%

疫学的視点からみたウイルス肝炎の課題	肝炎ウイルスキャリア対策
<p>1. (感染を知らないまま) 潜在しているキャリア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肝炎ウイルス検査 ●検査の必要性 ●検査の機会の拡大 (無料検査・出前検査) ●対象者の拡大 	
<p>2. 患者としてすでに通院・入院しているキャリア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・治療効果等の情報提供 ●医療費補助の運用 ●適切な治療への導入 ●専門医への受診 ●肝がん早期発見 	 
<p>3. (感染を知ったが) 継続的な受診をしないまま</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診への動機付け ●現状把握と要因分析 ・公費助成により見出されたキャリアの健康管理 ●医療機関受診率の把握 ●肝炎診療ネットワークへの連携 	
<p>4. 感染予防：キャリアの新規発生状況の把握と対策</p> <p>感染予防対策、グローバル化への対応</p>	
<p>厚生労働省 急性肝炎を含む肝炎ウイルス感染状況・長期経過及び治療導入対策に関する研究班</p>	